

参院選比例、日本共産党は得票数・率とも前進

上越市での開票結果

前号に続いて参院選の結果についてお知らせします。今回は上越市における比例の開票結果です。左表は今回と3年前に行われた参院選における各政党の得票数と得票率です。

日本共産党は今回、7,190票（得票率は7.79%）を獲得、前回よりも1,170票伸ばしました。得票率は1.24ポイント増やしたことになります。

他党では自民党、民進党、幸福実現党が得票数、得票率とも前進、公明党、生活の党は後退しました。社民党は横ばいです。

選挙区は、上越市で野党統一の森ゆうこ候補が自民党の中原八一候補に8,113票の差を

つけて勝利していますが、比例の得票と比較してみると興味深い結果になっています。

民進党、日本共産党など野党4党の比例得票合計は37,831で、自民党と公明党の比例合計、47,017を大きく下回っているのです。森ゆうこ候補は無党派層からの大量得票で逆転勝利したことがよくわかります。

安保法制廃止求めるレッドアクション継続へ

安保法制の廃止を求め昨年から続けられているレッドアクション（赤い服などを着てアピールする行動）が16日、市役所入り口交差点にて行われ、約30人が参加しました。参院選後初めての行動です。今回の行動では、森ゆうこへの



【ヌマトラノオ】サクラソウ科の多年草。漢字で「沼虎の尾」と書きます。山裾のじめじめした所で花を咲かせていました。オカトラノオの花はしっぽのようになっていますが、こちらは真っすぐ上を向いています。



支援に感謝しつつ、安保法制の廃止、憲法改悪阻止を訴えました。参院の結果、全国的には憲法改悪勢力が多数を占めましたので、たまたまはこれからも続きます。上越市でのレッドアクションは今回も続きます。後にも続きます。確認されたいです。来月6日

上越市における各政党の比例得票数・率

	今回得票	今回得票率	前回得票	前回得票率
日本共産党	7,190	7.79	6,020	6.55
自民党	40,691	44.1	38,484	41.18
民進党 (前回民主党)	25,580	27.73	19,611	21.33
公明党	6,326	6.86	6,761	7.35
社民党	3,606	3.91	3,587	3.90
生活の党	1,455	1.58	3,087	3.36
幸福実現党	498	0.54	216	0.23
おおさか維新	3,610	3.91		
日本のこころ	800	0.87		
国民怒り	508	0.55		
新党改革	552	0.59		
支持政党なし	1,441	1.56		

「声」のチカラあつめて地域づくり

二本木駅のスイッチバックを活用した地域づくりなどで注目を集めている中郷区において、「元気の出るふるさと講座」があり、参加してきました。

今回はその第1回目、NPO法人中郷区まちづくり振興会の竹内理事長がこれまでの取組経過などについて報告し、その後、20数人の参加者が地域づくりのキーワードをA4の用紙に一言書いて意見表明しました。

竹内理事長は、スライドを使いながら、「何も無いで終わるよりも、ひとつでも声をだしてもらい、エネルギーを集めることが大切」「『声』を出せる環境づくりをしていこう」と訴えました。

参加者の意見表明では、「輪」「人材育成」「コミュニケーション」などのキーワードを使って、それぞれ地域づくりはどうあるべきかを語りました。

私は「いろんな角度から見る」をキーワードに、二本木駅の鉄道を上から見たときに「V字型で、勝利に見える」

ことや国道沿いに咲く二セアカシヤの花の香りが上越屈指であることなどについて語りました。



はしづめ法一の活動レポート

No.1766 2016.7.24

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見たある記」はこちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第四一四回

くぐりぐい

「また来るすけね」そう言うてから、もう一年も経ってしまいました。時の流れは速いものです。先日、市内山間部の老人福祉施設に入所している板山の伯母を母と訪ねてきました。

訪ねることにしたその日は、たまたまプロパンガスを扱う業者さんがわが家に点検に来るといので自宅にいました。午後三時過ぎには点検が終了したので、その後の時間を使って伯母のところに出かけることにしたのです。

訪問したとき、伯母は施設の二階で他の入所者のみなさんとテレビを観てくつろいでいました。母の顔を見るなり、伯母は、「誰から連んできてもらったが」といい、次いで私の顔を見て、「お父さんからか」と言いました。母も私もちゃんとわかりました。物忘れが相当進んでいて、ひよっとすれば分からないのではないかと思っていました。で、うれしくなりました。

伯母と母、一年ぶりに会った姉妹です。それぞれの健康が気になるのでしょうか。互いに顔を見ているので、どんな話をするのかと思つたら、母が、「おまん、きれいな顔してなるねえ」と切り出しました。すると伯母はすぐ反応し、「だって、遊んでるがだもん」と答えました。いつも働いていた人間は言うことが違いますねえ。この日の伯母は母より七つも年上とは思えないくらいつやつやした顔をしていました。

次は手です。二人の手はどちらも皺（しわ）だらけ、母が伯母の手をとり、右手と左手を合わせています。手のかさの比べっこをはじめたのです。「おまんの手、でっけがど」と言つて母が感心していると、伯母は言いました。「だって、おりや、男の仕事をしてきたもん」伯母は真面目な顔をして言いました。若くして連れ合いを亡くし、苦勞をしてきたことがそのひと言でわかります。私も伯母の手をとってみましたが、苦かに伯母の指は太くて長い。伯母が言うとおり、男勝りにばりばり働いた手でした。手のかさの比べっこが終わると、伯母が突然、母に訊きました。

「どっから来たが……」

一瞬、「あれっ」と思いながら、二人を見ると、母がやさしく答えました。

「家から来たがだよ。『のうの』からじゃないよ」

『のうの』というのは二人が生まれ育つた実家の屋号です。大島区竹平にあります。

二人の会話はそれからキョウダイの話になりました。

「いま生きてるがはおらたち二人だけだよ。足谷も千葉も狭山もみんな死んじやつた」

「生きてりや、いつか会えるけど……」

「死んでしまえば神様だ。でも、話してみようねえ。達者でない。死んじやつたら、見えないところかなきゃならんよ」

二人とも九〇年以上生きてきたので、姉妹としての共通した思い出もあれば、そうでないものもあります。耳が遠くなってきたとはいえ、しゃべる内容はある程度予想がつくのでしょうか、会話ははずんでいました。

会話の様子をじっと聴いていたら、伯母と同じ部屋にいらつた安塚区出身のお母さんも車いすを動かしながらそばにやってきました。楽しそうに見えたのでしようね。

母が伯母と話したのは二〇分ほどでした。二人に向かつて、「そろそろ帰るよ」と言うて、伯母は「はえ、帰るがかい」と言つてさみしそうな表情を見せました。「また来るすけね」と言つて別れましたが、今度はあまり間をおかないようにします。

市内各地で戦没者法要

暑い夏がやってきました。市内ではいま各地で戦没者を慰霊する法要がいとなまれています。

このうち吉川区では15日、第62回戦没者合同追悼法要が同区原之町の忍西寺で行われ、私も参加してき

ました。この法要には遺族や来賓など約50人が参列しました。

法要では山本浩吉川区遺族会会長や新潟県の代表などが「追悼のことば」をのべ、平和への決意を表明しました。

印象に残つたのは、上越市長に代わって「追悼のことば」をのべた土橋均副市長の挨拶です。土橋副市長は市長から預かったものを代読する前に、陸軍、海軍に入り命を落としたふたりの叔父さ



んのことを語りました。言葉はやや少なめでしたが、じんときた挨拶でした。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16 μ Sv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	7月13日(水)	7月20日(水)
上越南消防署	0.050	0.043
上越北消防署	0.057	0.050
新井消防署	0.057	0.053
頸北消防署	0.047	0.040
頸南消防署	0.060	0.050
東頸消防署	0.063	0.053
高士分遣所	0.047	0.050
名立分遣所	0.057	0.057

「夢は牛のお医者さん」、今度は本に

『夢は牛のお医者さん』が本(赤羽じゅんこ作、小学館ジュニア文庫)になりました。



読み始めるまでは、映画『夢は牛のお医者さん』の脚本(?)のようものと思つていたので

が、開いてみてびっくりでした。映画で名場面となった3頭の仔牛の入学式、そしてこの牛たちの卒業式などが丁寧にとりあげられています。それらに加えて、映画で取り入れることができなかったところも書き込んであったのです。

主人公の知美さんはいまでも夢を追いかけていて、そこも書かれています。感動を呼ぶ内容ですからたまりません。どんどん引き込まれ、一気に読み終えました。